

県「エシカル消費」啓発ポスター・標語

中高生22人が入賞

より良い社会に向けた人や社会、地域、環境などに配慮した消費行動「エシカル消費」や、食品ロスの削減に向けて行動する機運を高める県の啓発ポスター・標語コンテストで、入賞者22人が決まった。県内の中高生らを対象に作品を募り、ポスターの部には87点の応募があった。最優秀賞には、大垣商業高校2年の成定直紀さんの作品が選ばれた。「世はエシ



「エシカル消費」というメッセージと共に、買い物時のエ

ポスターと標語の各部で入賞した生徒たち。県庁大森のバロー人材開発センターで表彰式。

コバック持参や賞味期限・消費期限が近い食品を購入する「てまえどり」、地元産の食品を選ぶ「地産地消」を呼びかけている。

標語の部には2242点の応募があり、最優秀賞には国府中学校2年の尾崎菜々子さんによる「考えよう食も生きていたことを」が輝いた。

表彰式は可児市大森のバロー人材開発センターで開かれ、作品は10月末まで展示される。関連のポスターやチラシがバロー各店舗で掲示される。

(中村芳紀) その他の入賞者は次の皆さん。

【ポスターの部】▽優秀賞 伊藤らむせ(大垣市東中3) 泉結衣(糸貫中2) 今西理央(大垣商業高2) 小木曾柑菜(多治見工業高3) ▽奨励賞 古田琴(中津川市第一中3) 島崎桜都(同) 宇野瑚采子(長良中3) 石原麻衣(岐阜各務野高2) 不破有那(同) 水上友里愛(同) 【標語の部】▽優秀賞 坂井湖春(蘇原中1) 藤城菜夢(同) 野原咲彩(大垣商業高2) 碓絢菜(大垣北高1) ▽奨励賞 森俊輔(糸貫中3) 川口璃音(川辺中1) 河瀬結花(赤坂中3) 山田有里(大垣養老高2) 藏元巧(大垣商業高2) 田中桃花(坂下高2)